

2005年度 第10回 西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<確定稿>

開催日時：2006年1月10日(火) 午後7時15分～9時15分
開催場所：西東京ボランティア・市民活動センター活動室
出席委員：阿部靖子、飯塚 睦、熊田博喜、坂口和隆、瀧島喜重、安岡厚子、山下恭子
<以上7名、敬称略、あいうえお順>
事務局：齊藤地域福祉課長、飯塚主事、今林コーディネーター、平田コーディネーター
丸木係長

配布資料

- 資料 1：西東京ボランティア・市民活動センター事業月次報告(12月)
- 資料 2：コーディネート状況等月次報告
- 資料 3：西東京ボランティア・市民活動センター予定表(1月)
- 資料 4：2005年度第9回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録<未定稿>
- 資料 5：他地域の評価に関する資料
- 資料 6：事業評価シート作成にあたって
- 資料 7：2007年度歳末助け合い運動募金配分金使途計画(案)
- 資料 8：2006年度西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会年間スケジュール(案)

委員長：明けましておめでとうございます。今年もよろしく申し上げます。今日は議題がそれほど多くないようなので、時間どおりに終わらせるようにしたい。では、事務局から報告事項の説明をお願いしたい。

1. 報 告 事 項

(1). 西東京ボランティア・市民活動センター業務報告について

事務局より、資料1、2、3に基づき12月の業務報告を行うとともに、1月の予定を説明する。

委員長：街なかサロンにここでの利用者数はどのくらいか。

事務局：12月7日は4人、12月21日が3人。それぞれ午後1時から5時までに立ち寄った人数である。

委員長：児童館に出入りしている人たちを対象とした事業の企画をしないと人を集めるのは難しいのではないか。街なかサロン自体が地域の人に知られていない。

委員長：シニアボランティアスクールの申込み状況はどうなっているか。

事務局：今日現在、8名となっている。

委員長：昨年の参加者はどうだったか。

事務局：昨年は、18名が申し込み、14名が修了した。

委員：今回のシニアボランティアスクールの内容はどのようなものか。

事務局：懇談会、ボランティア活動、市民活動とは、災害について、施設や市民活動団体での体験を予定している。参加者が思うように集まらないのは、募集の際のネーミングがよくなかったのではないかと考えている。

事務局：あるいは、実施時期が悪いのだろうか。

委員長：定年退職は誕生日前日ということが多いので、時期はあまり関係ないと思うが、このような事業は4月に行うことが多い。

他に質問、意見無く、業務報告を終了する。

(2).災害関係取り組み事業について

事務局より、災害時のシステムづくり専門委員会の検討状況について報告するとともに、2006年度の事業予定について説明する。

委員長：2006年度はこのような取り組みを各地域で行っていく予定なのか。

事務局：ワークショップをふれあいのまちづくり住民懇談会組織を活用して行っていきたいと考えている。

他に質問、意見無く災害関係取り組み事業についての報告を終了する。

(3).そ の 他

市職員研修事業の受託について

委員長：前回の運営委員会で市職員向けの研修の話があったが、このことについて報告があるか。

事務局：本日、市生活文化課より市内部での調整が図られ、ボランティア・市民活動センターへ委託することについては市としては問題がないとの回答を得た。そこで、ボランティア・市民活動センターとしては受託をしたいと考えている。ただ、市保健福祉部からの補助金については、今回の委託金で当センターの収益となった金額を補助金から差し引かれるということになる。市職員研修事業の受託について再度承認される。

運営委員会委員の選出について

委員長：運営委員会委員の選出のその後の動きについて報告を求める。

事務局：市内の企業に選出依頼をしているところであるが、回答は今日現在、まだない。前向きに考えたいとのことであった。

委員：委員を増やしていくための計画はどうなっているのか。

事務局：今後1年ごとに一人ずつ増やしていく予定である。

他に質問、意見無く運営委員会委員の選出についての報告を終了する。

2. 審 議 事 項

(1). 2005年度第9回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録について

訂正等なく、第9回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会会議録を確定する。

(2). 事業、運営組織、財政の評価について

事務局より、資料5, 6に基づき事業評価を行うにあたっての目的、評価項目等について提案がある。

委員長：2年前に作成した強化プランにも評価をしたほうがよいのではないかと載っている。前回の運営委員会での確認では2006年前半に評価シートを作成し、2007年度の事業に反映させていくということだった。

委員：企画する段階で案に示されているそれぞれの評価項目が明確になっていないと、事後に評価できないのではないかと。

委員長：自己評価とするのか。

事務局：そのように考えている。

委員：具体的に評価をどのような方法で行うのか。

事務局：これからの検討事項となると思うが、職員がミーティングなどで議論をしながら各項目について評価していくことを考えている。

委員：評価項目が細かすぎるのではないか。

委員長：評価項目を考えながら企画をしていくことが必要になると思う。参加者の満足度を計る項目では、参加者がその事業をどのように評価したのかも考える必要がある。たとえばアンケートなど。決算についても評価対象とすることが必要である。点数制にした時にその点数にどういう意味があるのかを決めておくことが必要ではないか。

委員：事前の実施計画がしっかりしていないと点数のつけようがないと思う。

委員：運営委員も評価することになるのか。

事務局：そのことについてもこれからの検討事項としてほしい。

委員長：その事業に関わっていない人が評価するのは難しいのではないか。委員がどこまで関わるのかは事務局の考え方による。

委員：評価の対象となる項目をある程度特化した形で設定してはどうか。

委員：ボランティア・市民活動センターの認知度を指標に、その事業をやったことによってどれだけ市民に認知されたかを知ることが大事ではないかと思う。

事務局：事業を行ってその事業が成功したか失敗だったかは、いろいろな角度からみていかないとその原因を追究できないと考え体系的に項目を設定した。

委員：どこに重きを置いてその事業を実施したのかによって、成功、失敗の評価は変わるのではないかと思うが。

委員長：いろいろ意見が出たが、計画段階と評価段階との整合性をどのようにするのか、あるいは特化するべき項目はどうするのかなどを事務局で検討してもらい、この検討を前進させて実現させたいがそれでよいか。

異議無く、事務局で再度検討し、修正案を作成することが承認された。

(3). 歳末助け合い運動募金配分金使途計画について

事務局より、資料7に基づき2007年度の歳末助け合い運動募金配分金使途計画が提案される。

委員長：なぜ翌年度に使えないのか。

事務局：東京都共同募金会に一度送金し、それが翌々年度共同募金会から配分されることになる。

委員長：社会福祉協議会内で配分金全体の使途を計画するのか。

事務局：そのとおり。社会福祉協議会に配分委員会が設置され、その委員会が配分計画を作成する。

委員：いつから地域福祉募金に変わったのか。

事務局：平成8年度からである。

委員：2案が併記されているが、2案ともにボランティア・市民活動センターとして要求していくことになるのか。

事務局：どちらかの案に絞って配分委員会に諮りたい。

委員長：第1案の広報事業は、2007年度の単年度ではなく、以降継続して行うつもりか。

事務局：単発的なイメージをもっている。

事務局：広報活動は、できれば単年度で終わらせるのではなく継続をしたい。

委員：広報の仕方として、団塊の世代向け、若者向けなどに分け、対象者を絞った広報紙を作成して配布してはどうか。キャリアを生かしての活動という視点で広報紙を作成、配布することもできると思うので、広報事業に配分金を充てるのは良いと思う。

委員：広報紙を発行するのであれば特徴がないと意味がない。

事務局：2006年度の配分金とほぼ同額の38万円を2007年度の配分金とし、あとの100万円を補助金の中から捻出するという考え方もある。

委員長：その場合、他の事業が圧縮されるということか。

事務局：そのとおり。

委員：2007年度問題や子育てをテーマに全戸配布するのは意味があることだと思う。

委員長：全戸配布をしてみるということではどうか。お祭りのイベントをやることによって認知度があがるということもある。広報紙の作成、配布については異論ない。予算どりにについては事務局に一任したいがそれでよいか。

異議無く、歳末助け合い運動募金配分金の使途計画については、広報紙作成を基本にしながら事務

局に一任することが承認された。

(4). 2006年度西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会年間スケジュールについて

事務局より、資料8に基づき、2006年度ボランティア・市民活動センター運営委員会年間スケジュールが提案される。

委員長：自己財源確保をどうするのかを議論することが必要だと思う。

他に意見無く、自己財源確保の検討を加え、運営委員会の年間スケジュールとすることが承認された。

以上をもって、第10回西東京ボランティア・市民活動センター運営委員会の審議を終了し、散会する。